

**ROTOBO**

Connecting Markets

# ロシアNIS経済速報

一般社団法人 ロシアNIS貿易会

2023年(令和5年)3月5日号 No.1918

## 目次

■ <b>2022年のロシア主要経済指標と鉱工業生産</b> .....	1
■ <b>トピックス</b> .....	6
カナダ、ロシアに追加制裁 / 6	
米国、ロシアに追加制裁 / 6	
EU、ロシアに追加制裁 / 6	
英国、ロシアに追加制裁 / 6	
オーストラリア、ロシアに追加制裁 / 7	
ニュージーランド、ロシアに追加制裁 / 7	
日本、ロシアに追加制裁 / 7	

## 2022年のロシア主要経済指標と鉱工業生産

### はじめに

ロシア連邦国家統計局より、2022年のロシアの主要経済指標が発表されたので、本号ではそれらを図表にまとめてお届けする。鉱工業生産については詳しく紹介する。

2022年のロシアの国内総生産(GDP)は、マイナス2.1%の減少となった。農業生産はプラス10.2%と大きく増加した。さらに固定資本投資の増加も寄与した。鉱工業生産が2年ぶりにマイナスになったことに加えて、モノの消費が振るわなかったことで商品小売販売高もマイナスとなった。

GDPは当初、8%以上の大幅な落ち込みが予測されていたが、国際資源価格の高騰などにより、小幅な落ち込みにとどまった。

昨年12月の消費者物価上昇率は、前年12月より11.9%上昇した。ニケタの上昇率は2015年以来、7年ぶりである。

鉱工業生産は、マイナス0.6%となった。このうち、鉱業がプラス0.8%、製造業がマイナス1.3%、電気・ガス供給がプラス0.1%、水道・廃棄物処理がマイナス6.1%となった。

主要工業製品の生産動向をみると、コンピュータ・同部品がプラス59.6%、農業用トラクターがプラス28.2%と大きく増加した一方、乗用車がマイナス67.0%、家庭用洗濯機がマイナス49.2%、家庭用冷蔵庫・冷凍庫がマイナス42.2%と大幅に減少した。

地域別では、伸び率が大きかったのが、サハ共和国(+10.1%)、モスクワ市(+8.5%)、ロストフ州(+7.8%)だった。逆に落ち込み幅が大きかったのは、サハリン州(-23.3%)、カルーガ州(-19.3%)、カーニングラード州(-17.6%)だった。